

# 土曜日の親子で活動、新たな発見でみんなの笑顔がますます輝く！

ほりでえ♡すまいる☆きゃんぱす

## 活動の目的

地域とともにある学校づくりを目指してスタートした“コミュニティ・スクール”。

学校の教育活動では容易にできない体験活動を“土曜日の午前中”“希望する親子”を対象に1年間を通して実施することから始めることとなった。将来へ向けて、子どもたちの生きる力を育みたい、メンバーがそんな想いを共有して取り組むこととなった。

## 活動の内容及び経過

メインは“自分たちで育てた米でお餅を食べよう”とした『もち米の稲作体験』。年間通した親子のメンバーを集い、『もちもちいきいきこめこめくらぶ』を結成した。16家庭(保護者17名・児童24名)、ボランティアスタッフも地域・学校の学校運営協議会のメンバーを含め、10名を超えていた。もみまき、田植え、草とり、稲刈り、餅つき・・・すべてが計画通り実行できた。

その他、桃づくり(袋掛けから収穫)、歴史ウォーキング、ふれあいペタンク、ふるさと味自慢(料理作り)、漢字検定準会場・・・年間12回実施。

## 活動の成果・効果

参加した保護者の感想から

『もち米を種から育て、田植えをして稲刈りなど昔ながらの方法で教えていただき、親の私まで勉強になりました。土や生き物にふれあい、体を使い育て、素晴らしい食育の学びをありがとうございました。大変なことも多かったと思いますが、喜びや感動の方が大きいです。』『普段食べているお米やお餅を口にするまでにたくさんの苦労があるんだということを体験できてよかったです。子どもたちのたくましい姿を見ることができてうれしかったです。』『一年を通じて親子で活動に参加したのは初めてでした。親子とも体験により学びが深まり、いろいろなことに関心を向けてみるとおもしろいな、と思いました。今後も様々な体験を親子でしていこうと思います。』

他にも活動のたびに温かい言葉をいただきました。

## 今後の課題と問題点

“希望した児童だけで平等性に欠けないか”という指摘をいただいた。

学校の教育活動へリンクすることは当初より想定している。他校の事例等からも“総合的な学習の時間”を活用する見通しもっている。



箱苗づくり(もみまき)2020.6.6



田植え 2020.7.4



稲刈り 2020.11.7



餅つき 2020.12.19

→学校の教育活動で行うべきことは、教育課程に位置付けて6年間の学びの体系を確立している。土曜日、地域との連携により、プラスαの生きる力を模索したい。

地域の方も学校教育については未知の世界である。1つ1つのプロジェクトを経ていかにかわり、どのような活動が児童の成長につながるか、を見つけていただきたい。

- 代表者：新田直哉 ●所在地：浅口市鴨方町六条院中
- TEL：0865-44-2243
- E-MAIL：koutyou@ns1.kamogata-rokujoin-e.ed.jp
- 設立年：2019年 ●メンバー数：55名